広報 富士川

4月号

編集　富士川町役場内庶務課広報係
静岡県庵原郡富士川町
発行人　助役　中川国兵
電話　岩渕 3・120・127
印刷所　望月印刷所　電話　岩渕 304

37年度予算など可決
四月より助産費二千円に

三月定例町議会は三月十二日、十九日の会期二日にわたり役場会議室で開かれ町長の予算説明、行政方針説明（3月号詳報済）に引続いて、上程された新年度歳入歳出予算、他12議題について慎重な検討、審議が加えられた結果、全議案とも原案通り可決決定した。

①昭和37年度歳入歳出予算について

⑵昭和37年度国民健康保険特別会計歳入歳出予算について

③昭和37年度奨学金特別会計歳入歳出予算について

④昭和37年度水道事業会計予算について

⑤義務負担の伴なわない寄附金受領について

▲右のような性格の寄附金は受領することができるという内容。

⑥一時借入金について

▲一般会計歳入歳出予算内の支出をするため二千万円以内の一時借入金をすることができるという内容。

⑦昭和37年度一般会計から水道事業会計に対する繰入金について

▲繰入金二五〇万円を一般会計に繰りもどさないという内容。

⑧基本財産の繰入について

▲町基本金、学校基本金等六基本金計六万三千二百九十一円を一般会計予算歳入に繰入するという内容。

⑨議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

▲費用弁償日額三百円を四百円にするという内容。

⑩特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

▲費用弁償日額二百円を三百円に、鉄道賃及び船賃の2等を1等に、報酬日額四百円を五百円にそれぞれ改正し、監査委員、学校医の項を新しく加えること。

⑪富士川町国民健康保険条例の一部を改正する条例

▲被保険者が出産したときの助産費千円を二千円に、被保険者が死亡したときの葬祭費千円を二千円にそれぞれ増額するという内容。

⑫富士川町証人等の実費弁償に関する条例設定

▲議会、選挙管理委員会その他の要求に応じ出頭した証人の実費弁償を規定する

⑬富士川町立第二中学校々舎建設事業費資金起債の方法、利息の定率及び償還の方法について

▲起債金額三百万円につきその目的、利息の定率（年6分5厘）借入先、借入償還方法等を規定する内容。

かんじんな点
根と果実

歳出を議会費、役場費等と款別に分けると右下表の通りになるが、投資的経費と消費的経費に二大別し、さらに投資的経費は町のどのような部門に分配されているかということを一覧図示したのが上掲表である。

歳入という肥料を受けて当然、果実が大きくそして数多く熟すことが望まれるし、又それを使命とする樹ではあるが、しつかりはった根があつてはじめて可能であることも判る。この両者の均衡、これが要点だ。

【37年度会計別総括表】

会計別	本年度予算額	前年度予算額
⑴ 一般会計	88.100.000	93.880.000
⑵ 国民健康保険特別会計	14.948.100	13.708.150
⑶ 奨学金特別会計	410.000	307.200
⑷ 水道事業企業会計	11.821.600	7.307.800
合計	115.279.700	115.203.150

37年度 どのように入り どのように使われるか

歳入

款別 ＼ 区分	本年度予算額		前年度予算額	
	金額	%	金額	%
1 町税	63.522.700	72.1	55.628.700	59.3
2 地方交付税	3.000.000	3.4	6.000.000	6.4
3 公営企業及び財産収入	5.342.009	6.1	3.312.755	3.5
4 使用料及び手数料	2.048.200	2.3	2.055.500	2.2
5 国庫支出金	2.916.600	3.3	6.086.860	6.5
6 県支出金	1.218.800	1.4	841.000	0.9
7 寄附金	5.458.400	6.2	3.969.300	4.2
8 繰入金	63.291	0.1	1.960.885	2.1
9 繰越金	2.500.000	2.8	500.000	0.5
10 雑収入	1.030.000	1.2	960.000	1.0
11 町債	1.000.000	1.1	12.565.000	13.4
合計	88.100.000	100	93.880.000	100

歳出

款別 ＼ 区分	本年度予算額		前年度予算額	
	金額	%	金額	%
1 議会費	1.668.800	1.9	1.561.100	1.7
2 役場費	18.522.000	21.0	16.692.300	17.8
3 消防費	5.579.000	6.3	5.432.000	5.8
4 土木費	8.312.000	9.4	4.443.000	4.7
5 教育費	23.229.430	26.4	20.381.870	21.7
6 社会及び労働施設費	1.963.500	2.2	1.610.700	1.7
7 保健衛生費	9.560.400	10.9	24.804.600	26.4
8 産業経済費	6.121.000	7.0	6.380.500	6.8
9 財産費	908.320	1.0	586.715	0.6
10 統計調査費	80.000	0.1	93.000	0.1
11 選挙費	922.600	1.0	508.300	0.6
12 公債費	2.071.350	2.4	2.166.509	2.3
13 諸支出金	8.737.000	9.9	8.820.000	9.4
14 予備費	424.600	0.5	399.406	0.4
合計	88.100.000	100	93.880.000	100

民生委員に二氏

小池、宮町地区・及び平清水、失所、新井、中山地区の両地区は、今まで民生委員が欠員していたが、今回それぞれの地区を担当する左記二名の方が二月一日付で厚生大臣の委嘱を受け活動することとなつた。

小池　会社員望月壮一氏54
平清水　無職佐野かつ子氏54

人権擁護委員 四氏決定

町民の人権を守り、侵害問題の起きたときは、法務局と共同してその事実を調査し被害者の救済を積極的にはかる人権擁護委員四氏が今回新たに増員され、三月十五日付をもつて法務大臣より委嘱された。

これにより昭和28年より引続き委員としてその職務を全うしている方と共に計五氏を数えるに至つた。

現、人権擁護委員
本通一　医師　宮沢孝氏60
新、人権擁護委員
道下　医師　秀村敏朗氏46
舟山　砕石業花田平作氏62
川坂　土建業　若月栄氏65
堺町　会社員後藤頼作氏51
（現在計五氏）

36年度追加更正
3回目、これが最終

3月28日臨時議会が役場会議室に招集され36年度歳入歳出追加更正予算他9議案が原案どおり可決決定された。36年度の追加更正はこれが最終であり通計3回目。今回の追加更正予算額四一二万円、これを含めた1回から3回までの累計予算額は一、五五〇万円となり当初予算との合計額は一億五三八万円となつた。

今回の歳入については大づかみに町税の増九百万円と町債五百万円との差額であり、他の款項は交互増減相殺されていると云うこともできる。

歳出については増が諸支出金の約三九五万円を筆頭に、土木費約三百万円、産業経済費約二百万円、教育費約百六〇万円、役場費約百五〇万円他で、計約一三三九万円となり、減は保健衛生費の約六九一万円、消防費約二三六万円計九二七万円となつており差引歳出予算額は四一二万円を示す。

他に町営上水道、簡易水道追加更生、土地買収、寄附金受領についてそれぞれ議決をみた。

寄附金受領

岩渕製紙株　六四二、四百円
丸合繊維　三五〇、四百円
白石工業株　一四六、〇〇円
本州製紙株　二九、二百円

これは中之郷潅漑用排水路及び道路改修工事（岩渕製紙株の裏を通る）施行に対する指定寄附である。

お知らせ欄

◉**役場民生課より⑴——十月一日から実施される改正軍人恩給の請求を受けつけている。**

戦地加算制度が復活されたもので、戦地勤務に一ヵ年以上服務した人に対して従軍した実在職年、一ヵ月につき、戦地の地域によつて一ヵ月ないし三ヵ月を加算して計算し、十二年に達した人が該当者となる。

地域は戦斗の場所、年月により大変異なつているが大体、戦斗地区は三ヵ月、国境警備などは二ヵ月或は一ヵ月半になつている。この従軍地域ごとの加算年一覧表と軍歴申立書は民生課にある。戦地に三年から四年従軍された方は該当されると思われるので役場へ。

当時の従軍履歴を書いてそれを県、民生部に出すと民生部では保管してある軍人名簿と照合した上、返送することとなつている。

又、高年令者から「裁定」になつてくるが、これは40才に達しないと恩給が支給されないためである。

◉**⑵——住所の変つたときは十四日以内に届出をするように。**

転居、転入を未届でいると、役場からのいろいろな通知や連絡が届かなく、児童の注射、入学、乳幼児の予防接種、健康診断などについて問題がおきたり、病気になつても保険に加入できないなどという実例も出てくることになる。

住民登録法ができて十年になるが、この規定で、転出入や転居の届出は十四日以内にすることになつており、怠つていると処罰される場合もある。

転居したり、新しく当町に住むこととなつた方は、広く暖かい社会保障制度の光りを受けるために、まず民生課戸籍係へ届出のこと

◉**防衛庁より——自衛官募集。**資格は18才以上25才未満の日本国籍の男子で学歴は問わない。志願手続その他詳しいことは役場へ。

◉**清水税務署より——待望の一千億減税が、**間接税を中心に行われ四月から実現した。酒の税金は平均一割程度引き下げられ、ビールは一本あたり10円の減税となる。氷冷蔵庫、文具類、スキー用具などの課税は廃止され、ルームクーラー、電気冷蔵庫、扇風機、写真機なども一割程度引き下げられる。入場税は全部10％になり、遊園地やアマチュアスポーツなどの入場料には税金がかからない。約束手形と為替手形も軽くなる。所得税についても課税所得一八〇万円以下の税率が緩和されるので負担が軽くなるほか相続税の基礎控除、所得税の生命保険料控除、寡婦、障害者、勤労学生の控除が引き上げられた。

地味

◎胸はどきどき目はかすみ思考力を失う。大勢の人達の前で話しをするということは難かしい七の力を持っていると自負していても口を通じては二の力も出すことができぬそれどころか、しどろもどろの自分を支えているだけで大変な努力◎話す内容が魅力なくとも、人間的な価値を持たぬ男にでも、演説ができるというただそれだけで一目おかざるを得ないとは◎五月、何かいいことがあるような気のする時候魔法の指環の物語。三つの願いごとが許されたら必らず一つは「大勢の人達を前にして自由に演説のできる自分」を祈り願う◎何度も場数をふんで鍛えていくより方法はない。機会を避けることなく体当りで。来年今月今夜には「これで鬼に金棒」とにつこり笑いたい

〈渕〉向日性

舟山町　花田

娘さん、若い奥さん、それから小学生の服装が、ひと頃に較べると立派になつた。数年前だと、貧乏の裏がえしのようにへらへらした感じの服装しか見られなかつたが、この頃は、実質的な美しさといつたものが現われはじめた。

一般には、世の中が安定したからという。たしかに消費が盛んになり、生産も高まつた。しかし、なぜ、実質的な美しさがでてきたのだろう？…

最近まで、私たちの周囲には、「桜の枝折るべからず」「ゴミを捨てるな」と書かなければならなかつたそれがこの頃、こういう立札を見たことのないのは私だけだろうか。

世界中のいろいろな事件が急テンポに私たちを眩惑させているけれども、身近なところで、気がつかないうちに、この着実な変化はすすんでいる。

昔からこうやつていたからとか、今迄どうりにしておけば、ということの通用しない時代が造られつつある。飾りものや、名前だけ体裁だけのものは削られてゆく。そして必要なものが必要であるための真の美しさにつくり変えられてゆく

どうも、人間というものの一番深いところには、向日性と呼んでもいい性質のものが、ずしりと据えられているのではあるまいか。

私は、やはり人間を信じたいと思う。

❖ 奨学金希望者へ＝四月末日までに教育委員会へ

商工会へ視察団

神奈川県より

四月九日、神奈川県大和化した貯蓄共済組合を設立市商工会長以下六名の視察団が当町商工会の貯蓄組合運営状況等を研究に来富。

町長の商工業大勢の説明

池上会長から貯蓄組合の詳細な説明をそれぞれ受けて、その活動方を範としたい旨述べていた。

当町商工会では、豊かな貯蓄共済―問合先―商工会町、豊かな暮しを目標に、貯蓄と集団勤労保険の一本化した貯蓄共済組合を設立、お毎月増加の一途をたどっている。県下においても模範的商工会となっている…

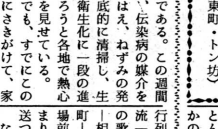
（写真は池谷町長、池上会長の説明を聞く視察団）

道しるべ

あなたの平均余命は

厚生省で最近発表された○年一カ月、四〇才では三六年一カ月、五〇才では二二年一カ月、六〇才が一四年六カ月、七〇才になると八年九カ月となっており、女子の場合はこれより三、四年長い平均余命をもつことになります。

したがって平均寿命だけをみて「男子の場合はのび年金の受給年月は平均余命によって推定されます。二〇才の人の平均余命は四九年一カ月、三〇才は四



テレビ普及率が高く交通事故件数が多ければ多いほど

近代国家と云える。

（東町・トン坊）

厚生年金は六五才から受給されますから、平均余命をみて「男子の場合はのびたとはいえ六五才と四カ月では国民年金の老令年金など掛金を払う気もしない」ということは正しくありません。

老令年金は六五才から受給されますから、平均余命により、六五才になった男子は十一年六カ月、女子の場合は十四年二カ月年金を受けることができるわけになります。

この他、国民年金にはいろ〳〵な給付があって、ほとんどの人が必らず、どれかの給付が受けられることになっています。

これからます〳〵衛生施設等、医療機関の向上と共に、平均余命は高くなり、それにつれて老令年金を受ける年数も長くなる傾向にありますので、働ける間にきちんと保険料を納めて老後に備えたいものです。

保険料―じょうずな納め方

国民年金の加入者は農業漁業、中小商工業者又は無職といった方で収入の時期も一定でないため、毎月納入、年四回納入、一括納入の方法があり、そのどれを選んで納めてもよいことになっています。

しかし、加入者が個人で納めることは手数であり、納税組合又は隣保班で納入組織をつくって交替で納めるようにすれば、納入月日を忘れるというようなこともなく、手数もずっと短縮されて便利ではないでしょうか。このような組織をつくって掛金をしているところが長いほど、複利計算で有利になります。

前納は一年より三年、三年より五年と前払いの期間が長いほど、複利計算で有利になります。二十才から六十才までの掛金を月々納めていくと、六万三千円になりますが、これを全部前払いしますと二万三千五百円となり、実に六割以上も割安になります。

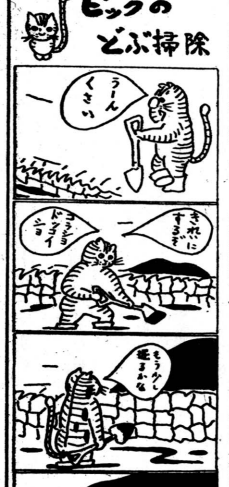
納入組合を通じて、こうした前納制度も考えに入れて楽な納め方を話し合いましょう。

次に前納の制度についてもう考えてみましょう。例えば一カ年前納しますと、十円以上の割引になり、十人ですと三百円以上になります。

衛生週間

進むパレード

四月十九日から二十五日までは環境衛生強調週間、全国一斉に一町をきれいにする運動」が展開された。衛生的な環境をつくり出そうという動きは会社、工場、諸団体など職場にまでてより効果をあげようとする及び、施設家屋の内外を掃るのが、この週間の設定されいにする県民大行進」の



ために大きな注意が払われてきつつある。このような各個集団の或は各家庭の掃除集団の或は各家庭の掃除去を実施している人達の姿が見られた。週間中、二十一日には、午前九時に富士川橋に到着した「町をき発言がなされた。

野田山は招く

青年団主催のハイキング▼岩淵駅のコースを歩いたが初夏の緑を縫って行われた。歌声は山彦になって帰り、全員、元気よく南松町の山へピクニック、最近、このような気運がめだってきた。家族連れで▼中山▼野田山▼四十九み草に興ずる姿も見られる

人の流れ

（敬称略）

祝結婚

区名　氏　名　保護者続柄
新町　若槻洋久　三郎長男
新四　渡辺　孝　一光二男
新四　辻くみ子　正義長女
宮町　浦田哲巳　俊夫二男
小池　瀧池達也　森　二男
本一　清　勝則　英達三男
本四　若林　浩　肇　三男
幸町　芦川ゆかり　利治長女
幸町　浦田鴨彦　定春長男
東一　進藤　学　章　長男
新井　小林　誠　忠　三男
足久保　深沢麻記子　安行　長女
原方　武井明美　尚　二女
清水　渡辺美穂　堯之長女
大北　佐野好美　一郎長女
道下　小川美恵　信男　二女
泉水　深沢富士夫　守雄長男

転出した人

区名　氏　名　転出先
坂下　山本　浦子　沼津市
新町　渡辺鳴子　吉原市
新四　若月　孝康　蒲原町
宮町　浅場　愛子　富士宮市
本四　坪内　永子　清水市
西野　桐山　一子　清水市
新町　若槻洋久　三郎長男
新四　渡辺　孝　一光二男
新四　辻くみ子　正義長女
宮町　浦田哲巳　俊夫二男
小池　瀧池達也　森　二男
本一　清　勝則　英達三男
本四　若林　浩　肇　三男
幸町　芦川ゆかり　利治長女
幸町　浦田鴨彦　定春長男
東一　進藤　学　章　長男
新井　小林　誠　忠　三男
足久保　深沢麻記子　安行　長女
原方　武井明美　尚　二女
清水　渡辺美穂　堯之長女
大北　佐野好美　一郎長女
道下　小川美恵　信男　二女
泉水　深沢富士夫　守雄長男

祝誕生

区名　氏　名　保護者続柄
舟山　池谷富美子　康男長女
舟山　渡辺浩志　和已　長男
坂下　望月佐知子　登美雄長女
坂下　小沢　孝　憲吾　長男
上町　斎藤　淳　嗣治　長男
上町　小笠原宏子　章秀長女
新町　小笠原繁　勝政　二女
本三　野沢　きみ　五一
東二　斎藤いさは　三四
足久保　石川福松　七一
池野　稲葉　鶴吉　八四
大北　天野　セン　八六
辻　浦野　イト　七七

祈冥福

区名　氏　名　年令
鍵穴　望月　とめ　六九九
舟山　太田　あさ　六〇
新四　森中　郁雄　八四一
宮町　若林　こう　九二
本三　山本　なか　九二
東二　斎藤いさは　三四
足久保　石川福松　七一
池野　稲葉　鶴吉　八四
大北　天野　セン　八六
辻　浦野　イト　七七

編集後記

(1)文明の暴威、無線放送、自治大学、「大学」の語は避けよ。当用漢字以外の字が使われている。

二通の投書をいただきました。(1)運営上にも、簡明な用語と時間短縮に注意しています。一面、先日の火災のような突発事故の際には非常に感謝されています。(2)夏季大学という語もあり役場職員の努力をユーモアを含めて表現したわけです。漢字の点、充分注意します。

（電話3番　広報係）

結晶

捕る楽しみ　その四

石は焼けた。仁作はその一日を全うした塩をみる。俺には愛する妻と、この山川、他になんの野心がいろうか。

「みよ、湯呑の柄のおもしろいものが吉つあんの家で見かけたから明日にでも出かけてみろ」

仁作は鮎を頬張りながらゆっくりと酒を注いだ。

「まあ！嬉しいわ。でもあなたのおつしやる柄というのが疑問ですもの」

みよと仁作が顔を見合わせて笑うはずんだ声は、波紋を描いて散っていく。

宵はようやく二人を包み込む岩淵の宿場は物資の集積地として栄えた。

「笹葉に鮎も夏風に流れ来りて…」

心嬉しく、晩鐘も…

どちらからともなく差しのべた手を握り合っている夫婦の頬をなでて、川風が過ぎ去って行く。

仁作は心の内に和紙を広げ筆を取ってこの状景のあらゆる情を写し取った。

妻の美しい姿は清流に泳ぐ鮎に、富士川原火、富士山、丸石、落日、流木、微風、なかんずく抱擁する愛の表情、それは黄色く凝固されたゆず結集造形された。

（終）

投書歓迎